

学校の教育目標	自ら学び 進んで働く生徒 心身ともに健康な生徒 自他を尊重して 協調性を発揮する生徒 社会に対する責任を自覚して 実践する生徒
---------	--

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 探究的学習を通して、自ら学び、自ら考える力を身につける。
- 2 実社会や実生活の中から課題を見つけ、教科等の基礎を活かし、問題を解決する能力を身につける
- 3 探究的な学習に主体的、協働的に取り組むとともに互いの良さを認め、問題解決にあたる。

育てようとする資質や能力及び態度

〈知識及び技能〉		
第1学年	第2学年	第3学年
教科等の知識および技能を関連付けて考えることができる。	教科等の知識及び技能を目的に応じて活用できる。	教科等の知識及び技能を活用し問題解決に活かせる。
〈思考力・判断力・表現力等〉		
第1学年	第2学年	第3学年
たくさんの情報から必要な情報を収集できる。	仮説を立て、必要な情報を活用できる。	目的や意図に応じて論理的に表現できる。
〈学びに向かう力・人間性等〉		
第1学年	第2学年	第3学年
目標を明確にし課題解決に向けて計画的に行動できる。	互いの特徴を生かし、共同して問題解決に取り組める。	自己の将来を考えて、夢や希望を持つことができる。

内容	学習対象	学習事項
第1学年	・地域の自然環境と地球環境に関すること ・福祉に関すること	・環境問題 ・環境の保全 ・福祉体験
第2学年	・職業や自己の将来に関して ・異文化理解に関すること	・チャレンジザドリーム ・国際理解
第3学年	・日本の伝統文化の理解と継承に関すること ・卒業後の進路や自己の将来に関して	・伝統文化 ・自己の将来 ・卒業論文(読書科との連携)

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
1年…環境・福祉 2年…国際理解・自己の将来 3年…伝統文化・自己の将来	・他教科との関連 ・ICTを活用 ・協働的な学習 ・読書科との関連	・学習進路指導部での各学年の取り組みの調整 ・地域人材の活用	・個人内評価の活用 ・年度末での評価へ、評価の蓄積